



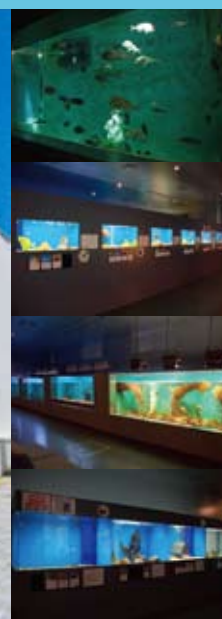
福山大学
FUKUYAMA UNIVERSITY

学 報

2011.7.10 Vol. **129**

三蔵五訓

真理を探究し、道理を実践する。
豊かな品性を養い、不屈の魂を育てる。
生命を尊重し、自然を畏敬する。
個性を伸展し、紐帯性を培う。
未来を志向し、可能性に挑む。



平成23年度の就職状況と 新入生合宿オリエンテーション

卒業生の就職状況	1
充実した就職支援	2
新入生合宿オリエンテーション	3
研究活動	5
地域連携活動	6
学内トピックス	7
インフォメーション	8
学友会短信	10
国際交流瓦版	11
学内人事	12
財務状況	13
平成24年度 入学試験の概要	15



平成23年度の就職状況と就職支援

就職環境・就職状況

平成22年度に本学が受付けた求人数は、年度末で7,432件であり、昨年度の7,404件とほぼ同数であり(平成20年度は8,501件)、学生にとっては厳しい状況下での就職活動でした。

就職内定率は91.1%であり(厚生労働省が5月24日に発表した全国の大学平均と同じ結果)、昨年度の88.6%を2.5ポイント上回りました。本学の新教育システムと連動した体系的就職支援、多くのOB・OGによる積極的支援、新たに発足したキャリア形成支援センターによる就活力や就業力の育成、ゼミ担当教員

や就職委員を中心とした個別指導の強化等が就職環境の厳しさにもかかわらず、一定の成果に結びついたものと考えています。

学部・学科に限らず複数社から内定を得た学生も多く、それらの学生は総じて早い段階から就職活動の計画を立て、自己の専門分野を広い視野から見直して業界研究を行い、企業訪問やOB・OG訪問等に積極的に取り組んでいました。

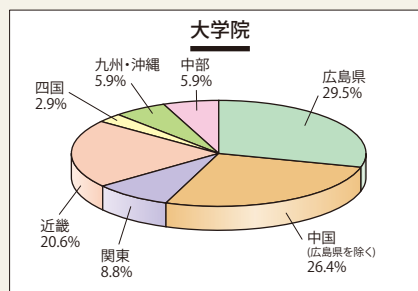
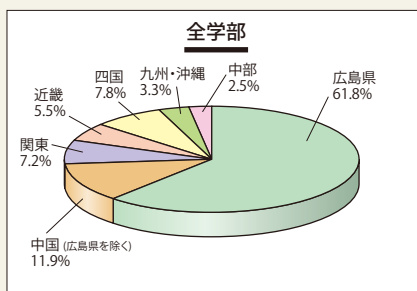
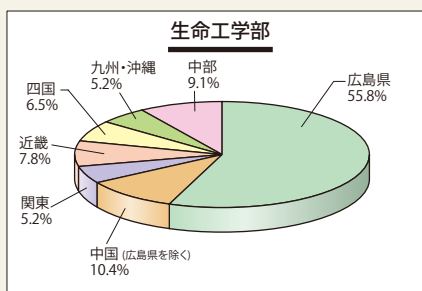
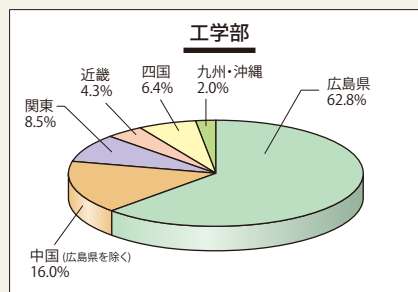
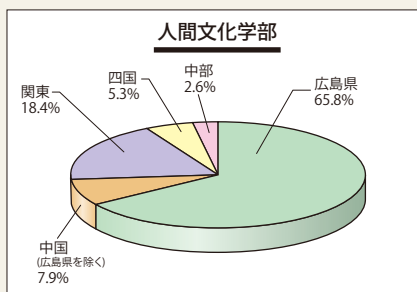
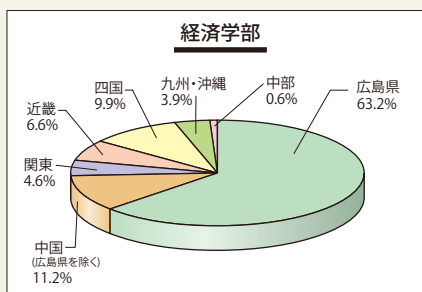
5月24日のリクルート発表によると、2012春卒業予定の大学生・大学院生に対する求人倍率は今春3月の東日本大

震災の影響等も加わり、今春に比して0.05ポイント低下して1.23になると見込んでいます。

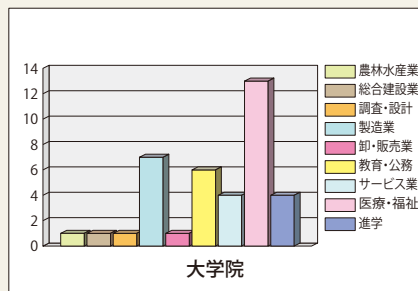
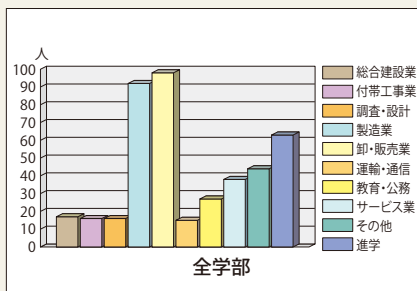
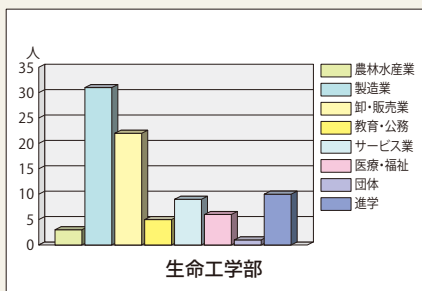
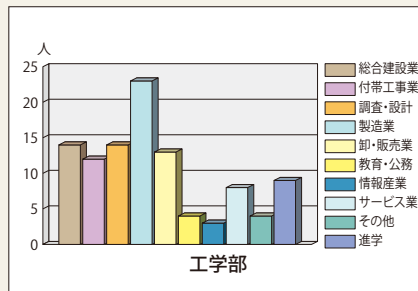
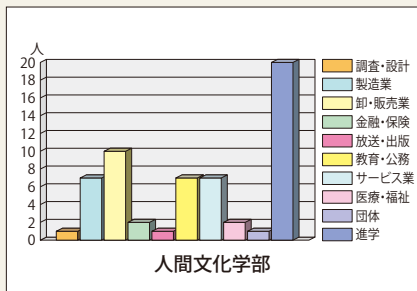
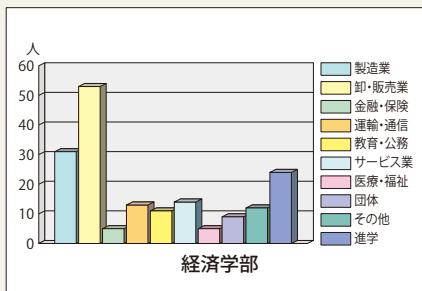
就職課も企業訪問数を増やし、これまでの繋がりを生かした新卒採用枠の拡大をお願いしたり、学生の動向を踏まえた単独や合同の企業説明会を開いたりして、大学をあげて就職支援を強化しています。

22年度卒業生の各学部・全学部及び大学院の地域別、業種別(大学院等への進学を含む)の就職状況は下の通りです。

平成22年度 地域別進路状況



平成22年度 業種別進路状況



実践力を高める就職支援の取組み

福山大学では、学生一人ひとりが共通教育並びに専門教育において修得した知見と、全学部で4年間にわたって計画的に展開するキャリア教育とを結びつけ、自己の進路を主体的に切り開いていく力の獲得に資するきめ細かな支援を、ゼミ担当教員、就職委員、就職課職員が中心となって精力的に取り組んでいます。

特に平成22年度から23年度にかけては、学外の専門講師による学生のニーズに即応したセミナーを実施したり、貸切りバス利用によって都市部での合同企業説明会への参加を支援したりするなど、新たな取組も展開しています。また、専門のキャリアアドバイザーやジョブサポーターの常駐によって、個々の学生の進路選択上の相談に応じるとともに個別企業との最適なマッチングを図っています。

進路選択が本格化し、就職活動が始まっていく3年次に次のような支援を展開しています。

1. 就職ガイダンス

第1回就職ガイダンス 5月

- ①職業選択の意義、自己理解と仕事理解
- ②就職試験対策の基本

第2回就職ガイダンス 5～6月

- 「一般常識テスト」の実施と自己の基礎知識・能力の把握

<Web登録> 6月

就職サイトの活用方法の指導

第3回就職ガイダンス 7月

フォローアップ講座(学外講師による指導)

- ①一般常識テスト結果の生かし方
- ②採用試験の評価の観点や基準について

第4回就職ガイダンス 9月

- ①進路希望票の作成について
- ②業界研究、企業選択の進め方について
- ③企業の採用動向と就職活動について

第5回就職ガイダンス 10月

SPI適性検査の実施

- ①自己の能力や適性の客観的把握
- ②採用試験頻出問題とその対策

第6回就職ガイダンス 11月

フォローアップ講座(外部講師による指導)

- ①SPI適性検査結果の生かし方について
- ②自己PR・志望動機について

第7回就職ガイダンス 11月・12月

学部・学科による「就職活動体験発表会」

2. 就職対策講座

(1)就職セミナー(キャリアアドバイザーによる) 6月、10月、11月

(2)新聞の活用講座 10月

(3)小論文等文章作成講座 10月

(4)履歴書・エントリーシートの書き方講座 11月～1月

(5)就職面接講座(学外講師による指導)

3. 保証人との就職懇談会

薬学部 4月

経済学部・人間文化学部 11月

工学部・生命工学部 12月

4. 学内合同企業説明会

2月・3月

県内外の優良企業を招き、企業説明会を実施(昨年度は2月16日、18日、3月3日に実施参加企業174社)

5. 単独企業説明会

4年次の4月以降、個別の企業説明会を実施し、早期内定を支援

採用内定者の応援メッセージ



経済学科 4年
松前 明日香
内定先
株式会社 広島銀行

私は就活サイトのオープンと同時に企業にエントリーし、合同企業説明会にも参加しました。しかし、自分のやりたいことや、社会に出て働いている自分が想像

できずとても悩みました。そんな時に、私は内定をもらっていた4年生の先輩に相談してアドバイスを貰いました。おかげで、自分のやりたいことが明確になり、その先輩と同じ銀行に入りたいと思うようになりました。その先輩との出会いがなければ、今もまだ就職活動に悩んでいた日々を送っていたかもしれません。これから就職活動が始まる3年生は多くの困

難に直面することもあるでしょう。そんな時は、ぜひ周りの人に助けを求めてください。多くの人と話をしてください。少し視野を広げて落ち着いて自分を見つめると今までと違う新たな発見があります。

就職活動は長期戦で体力的にもしんどくなりますが、努力した分必ず自分に返ってきます。そして“諦めない”ことが大事です、自分を信じて頑張ってください。



機械システム工学科 4年
石井 俊也
内定先
池田糖化工業株式会社

私が本格的に就職活動を始めたのは3年生の後半からで、リクナビ・マイナビから多くの企業にエントリーしました。その後、合同企業説明会に参加し、色々な企業の説明を受け、興味を持った企業の研究をしました。また、

並行して自己分析や一般常識問題に取り組みました。自分と向き合い、自己分析することなどこれまで無かったので最初は戸惑いましたが、自己分析を乗り切ることで、自己PRも内容が濃くなり、面接での意外な質問にも対応でき、自分の意見をしっかり言えるようになりました。

また、就職活動とは別に、アルバイトや地域の野球チームでの活動から、さまざまな人と接して交流を深めていくことにより、情報収集をしながら協

調性も身に付いたと思います。特に、アルバイト先での社員との親睦の場などでは、企業の実態が生の声として得られ、それが大変参考になりました。就職活動は早めに取り組むに越したことはありません。多くの企業の説明を聞き、自分の働くイメージが実感できる企業が良いと思います。

皆さん、色々不安だと思いますが、就職活動は自分が一番成長できる時期だと思いますので、頑張ってください。

キャリア形成支援センター

— キャリア形成支援センターを活用しよう —

福山大学には、学生の皆さんの就職支援を行うために、キャリア形成支援センターが設置されています。キャリア形成支援センターでは、学生一人ひとりが「自分らしい生き方」を探り、社会の動向を踏まえた確かな構想と展望のもとに、生涯にわたって有意義な職業生活を送ることを目指したさまざまな支援を行っています。

センターでは、就職活動と就職してか

らの職業生活に必要な基礎力(就活力)を養成するためのキャリア教育プログラムを実施しており、BINGOチャレンジインターンシップなど、多様な就業体験プログラムも用意しています。また、就職活動が具体化する3年次を中心に、就職ガイダンスや各種セミナーの実施、就職懇談会や合同企業説明会の開催など、学生の皆さんの就職活動を支援するための就職支援プログラムを用意しています。

現在、学生諸君を取り巻く就職環境は非常に厳しいものになっています。普段の講義はもちろんですが、キャリア形成支援センターで提供するキャリア教育プログラムやさまざまな催しに積極的に取り組み、将来のための力をしっかりと蓄えていただきたいと思います。

キャリア形成支援センター長 西原 晃

新入生合宿オリエンテーション

広がった友達の輪

私たち経済学部は、4月5日(火)、6日(水)にみろくの里へ行きました。入学してすぐに研修があったので、みんなと仲良くなれるのかとても不安でした。

みろくの里に着いてすぐにお風呂に入りました。そこで、初めて一緒に部屋のひとと話しました。これをきっかけにご飯のときや全体の集まりのときも打ち解けて話すことができて嬉しかったです。夜には、学生リーダーの先輩方から時間割作成や、学校生活の話を伺うことができました。とても優しく熱心に話をしてくださり、話を聞けて良かったです。

次の日は、ソフトボール、サッカー、オ



リエンテーリングに分かれて楽しみました。私たちはオリエンテーリングで留学生と協力して地図を見ながら頑張りました。留学生と交流することは今までになかったのに、友達の輪が一気に広がったように思いました。男子もソフトボールやサッカーを一生懸命やっていたので研修があつてよかったと思いました。

最初は友達ができるか不安でしたが、



研修のなかで一緒に活動していくうちに、たくさんの友達ができました。これから、研修でできた友達やこれから新たに仲良くなる人たちと4年間頑張っていこうと思いました。最後に、お世話になった先生方、学生リーダーの先輩方、どうもありがとうございました。

経済学部 1年 藤井 理沙
藤原 美波

大学生活第一歩

4月5日(火)・6日(水)に新入生のためのオリエンテーションがありました。私たち人間文化学部のオリエンテーションは、ふくやまふれ愛ランドで実施されました。私は人見知りなので、新しい生活、人



間関係に溶け込めなかったらどうしようと、とても心配でした。その日ドキドキしながら、

合宿の荷物を持って早めに大学へ行きました。午前中、大学で履修登録についての話で、履修科目には、共通基礎科目と教養教育科目があり、今まで習ったことのない科目、私の興味を引く面白そうな科目、ちょっと難しそうで不安な科目、いろんな科目がありました。新しいことを学ぶ期待と、私にできるだろうかという不安で一杯になりました。現地に着いて、学科

に分かれて自己紹介したり、先輩達が皆に打ちとけ易いように、館内でのミニクイズ競争など計画してくださいました。また、各科目担当教授についての先輩の一言コメント付きの紹介は、わくわくしてとても心躍るものでした。先輩達のいろんなアドバイスのお蔭で、心配していた履修届を合宿の2日間で無事完成することができました。色んなことやアクシデントがあったりしましたが、皆と楽しく打ちとけてオリエンテーションを終えることができて、本当に良かったです。福山大学の先生、先輩、仲間達と一緒に人生で掛けがえのない時を創っていきたいと思います。

人間文化学科 1年 和田 彩加

楽しそうな大学生活に期待

私たち建築・建設学科の合宿オリエンテーションでは、最初にワークショップというものを体験しました。このワークショップは、「自分らしさを再発見し、自分づくりをすること」を目的としたもので、「自分が夢中になっていること」や「思い出のある取組み」などをまとめ、そこから「大学生になりたいこと」を具体的に表現して将来へつなげるという内容でした。このワークショップの体験は、大学生活での目標や自分のしたいことを見つけるための良い参考になりました。

午後から合宿オリエンテーション会場にバスで移動し、履修登録の説明を受け

ながら授業科目を選択する作業に取り組みました。大学は高校のときのように履修する授業が確定されてなく、必修科目以外の授業は自分で決めるということに新鮮な感覚を受けました。夕食後の自由行動時間は同じ高校の人がいなかったもので不安になりましたが、時間が経つにつれて親しくなって気まずい雰囲気なくなり、次に会った時に話せるキッカケを得ることができた時間になりました。2日目の朝は片付けをしてから教養科目と専門科目の登録作業を終了させました。

合宿オリエンテーションに参加した後で一番変わったのは、大学への不安がな



くなり、楽しくなりそうな大学生活に期待が持てるようになったことです。これからの4年間を無駄にしないように過ごしていきたいと思います。

建築・建設学科 1年 宮地 捷

春の雪合戦

私たち生物工学科はみろくの里に行ってきました。初めは知らない人ばかりだったのでクラスには緊張感が漂っていましたが、寝食を共にして交流することで自然と仲良くなっていきました。夜は就寝時間が過ぎても話が弾み遅くまでいろいろな話をしました。当然のことながら寝不足のまま2日目に突入したわけですが、2日目にはこの合宿で最大(?)のイベントであるスポーツ雪合戦が待っていました。雪合戦と



言っても春なので雪は当然なく「どうするのか?」と思っていたら、テニスボールに新聞紙とガムテープをぐるぐる巻きにして雪の代わりにするとのことでした。なんと雪合戦連盟の方もお越しくださって、しっかりとしたルールの説明から始まりました。9割9分の人が雪合戦の経験がなく、ルールに従って頭を使いながら体を

動かすことは大変でした。しかもボールはそこそこ固く当たったらやっぱりそこそこ痛かったです。試



合を経るに従ってコツを掴んできて、次第に試合らしくなり楽しく終えることができました。試合のない空き時間には同じチーム以外の人も話すことができ、合宿が終わる頃にはみんなと仲良くなることができました。

1泊2日の短い間でしたが、先生や学生リーダー、雪合戦連盟の皆さまのおかげで楽しく過ごすことができました。交流の深まった友達と共に過ごす今後の学生生活が楽しみです。

生物工学科 1年 石倉 弘己

「友達づくりにつながりました」



クラス別セミナーでの物語の作成風景



クラス別セミナーでの創作物語の発表ー 1

私たち薬学部は、新入生合宿オリエンテーションで尾道ふれあいの里に行きました。到着してすぐに、サッカーやバドミントンなどのスポーツをしました。初めて出会った人ばかりなので不安でいっぱいでしたが、一緒にスポーツをしているうちに打ちとけ合え、友達づくりにつながりました。他のクラスの人とも、次に会ったときに話しかけるきっかけができました。

夕食後のクラス別セミナーでは、グループごとに題が与えられ、言葉を交わさず一人一文字ずつ文字を書いて、物語を作るというゲームをしました。なかなか難しかったですが、とても盛り上がり、同じクラスの人と仲良くなれました。また、完成したものはとてもユニークなものばかりで楽しかったです。



スポーツアワー

合宿の初めは緊張と不安でいっぱいでしたが、合宿を通して新しい友達がたくさんでき、大学生活がとても楽しくなりそうだと期待がもてるようになり、その次の日から学校へ行くのが楽しみになりました。オリエンテーションがあって本当によかったです。これからの6年間で新たな仲間とともに精一杯がんばっていきたいと思います。

薬学科 1年 谷本 優紀



「他人事で学ばない」

人間文化学部人間文化学科 磯貝ゼミ

「何のために学ぶのか。」これは、直接間接にゼミ生が常に向き合うこととなる問いです。将来就職するため、今必要な勉強をしている。それは一つの答えでしょう。何かになるために、必要な要素としての知識や技能を体得する。素晴らしい態度、と言えます。辛くとも耐えて何者かになる。それができる人は幸せです。でも、今度はそれを他者と共に行うとき、社会に出て同僚となった人に、或いは我が子に、あなたは「今を我慢したら、いつかは…」以上のことばで接することができるでしょうか(押し付けますよね?頑張った人であればあるほど、それが自分にとっては最良の方法なのだから)。



夏のゼミ合宿 in 島根

またこんな人もいます。大学に入学したのだから、勉強をするのは当たり前であって、自分が選んだ専門を、着実に極めていくことこそが目的だ。そう考えて疑うことのない人は、幸せな人です。好きなことを勉強できるのだから、私はそれで満足。それでいいのかも知れませんが、でも、「自分が知っている範囲で」好きなことを学ぶあなたは、まだ出会えていないモノの可能性を全く顧みることができない。(だから「面白くない」授業では勉強することができない、あなたの隣人の好きなことに対しては思いを致すこともない)。そもそも自分が知っている範囲でしかものを考えることをしないのであれば、それは学びですらない。これもまた、先の問いに対しての答えになっているとは言い難い。

私の専門は日本語学・日本語書記の歴史ですから、必然選ばれる卒業論文テーマは、ことばに関わること、コミュニケーションを言語の側面から捉えようとするもの、が多くなります。「漢字字体の変容」「接続詞の使用」「マンガに見るオノマトペ」「メディアが描いた中田英寿」



etc.毎週のゼミ・月に一度の延長ゼミ・他の先生とのコラボゼミ・夏のゼミ合宿と学びの場はさまざまですが、そこでは自身の研究の意味が常に問われます。それは同時に、友だちの研究内容や成果の理解に努めつつも、相手にとっての意味／その研究が成立する文脈と向き合う場でもあるのです。そして、相手にとっての意味を発見するそのことが、「自分にとっての意味」になっていく(これはそのまま、研究／授業において学生と向き合う、その問題意識となって私自身に跳ね返ってきます)。

相手のことも自分のことも「他人事で学ばない」。私がただ一つ誇ることでできる磯貝ゼミの特色は、このように培われていくと私は信じているのです。

人間文化学科 准教授 磯貝 淳一

平成23年度科学研究費補助金

★研究種目

◎研究代表者氏名 所属 職名
研究題目(交付金額)

★基礎研究B

- ◎藤田 泰太郎 生命工学部 教授
枯草菌緊縮制御ネットワークの全貌の解明とその応用 (330万円)
- ◎宮崎 光二 工学部 講師
ロボットを用いたストーリー型インタラクティブシステムのプラットフォームの研究 (70万円)

★基礎研究C

- ◎田中 久男 人間文化学部 教授
アメリカ文学における人種と地域から見た階級表象の領域横断的研究 (80万円)
- ◎久保 卓哉 人間文化学部 教授
鲁迅をめぐる日本人一新資料の発掘に関する研究 (80万円)
- ◎日下部 典子 人間文化学部 准教授
広島県における幼児の母親を対象としたうつ予防プログラムの実施と効果の検証 (100万円)
- ◎井上 達雄 構造・材料開発研究センター客員教授
統合型変態・熱塑性構成式の一般化と材料パラメータの同定および変態・熱・力学解析 (60万円)
- ◎木村 純壮 工学部 准教授
複数通信遅れを考慮する遠隔協調操作と予測制御の研究 (80万円)

◎香川 直己 工学部 教授

アイセーフレーザを光源とする空間光通信網を利用した温室効果ガス計測システムの開発 (60万円)

◎洲上 倫子 生命工学部 教授

加熱・高圧・乾燥処理による野菜・果実の物性変化とペクチン質の関係 (80万円)

◎梅田 眞三郎 工学部 教授

菱形角柱群流路からの新しい混相噴流現象の可視化に関する基礎的研究 (90万円)

★若手研究B

- ◎村上 泰子 生命工学部 講師
C型慢性肝疾患の亜鉛および多価不飽和脂肪酸による病態進展抑制効果に関する研究 (60万円)
- ◎橋本 優花里 人間文化学部 准教授
神経心理学と臨床心理学に基づいた配信型認知リハビリテーション環境の展開と拡充 (80万円)
- ◎広岡 和丈 生命工学部 准教授
枯草菌における植物由来芳香族化合物に応答した複合的遺伝子発現制御の解析 (90万円)

平成23年度科学研究費助成事業(学術研究助成基金助成金)

★研究種目

◎研究代表者氏名 所属 職名
研究題目(交付金額)

★基礎研究C

- ◎磯貝 淳一 人間文化学部 准教授
平安鎌倉時代における仏教漢文書記史の研究 (140万円)
- ◎桑原 哲也 経済学部 教授
高度成長期の外資系企業の経営史的研究 (130万円)
- ◎平 伸二 人間文化学部 教授
事象関連電位による虚偽検出における新たな多重プローブ法の確立 (120万円)
- ◎堤 俊彦 人間文化学部 教授
レアシンドローム児と家族への包括的・継続的な心理的支援の確立に向けての基礎研究 (40万円)
- ◎日野 恵美子 経済学部 講師
役員人事と戦略 戦後日本の低迷、暴走、独走企業の分析 (70万円)

★若手研究B

- ◎飯田 豊 人間文化学部 講師
「つながり」のメディア史 一〇二世紀無線技術の〈大衆化〉と〈個人化〉の狭間で (80万円)
- ◎渡辺 伸一 生命工学部 講師
絶滅危惧種カブトガニをキーストーン種とした沿岸生態系の保全 (140万円)
- ◎引野 亨輔 人間文化学部 准教授
近世仏教教団における献上儀礼の基礎的研究 (80万円)
- ◎樋町 美華 人間文化学部 講師
成人型アトピー性皮膚炎患者に対する心理的アプローチプログラムの開発 (70万円)

府中産業メッセ2011で電子・機械工作教室と体組成チェック

平成23年5月28日(土)、29日(日)に開催された「府中産業メッセ2011」(主催:府中商工会議所、場所:府中市立総合体育館(ウッドアリーナ))において、福山大学は、府中商工会議所の要請を受けて、電子・ロボット工学科「ロボット製作教室」、機械システム工学科「EVレースの展示、ゴム動力自動車工作教室」と生命栄養科学科「体組成測定による健康チェック」を参加型展示しました。



受動歩行ロボットの製作教室

電子・ロボット工学科では、①レスキューロボットの操縦体験、②ETロボコンで使用される倒立振子ライトレースロボットのデモ走行、③学生が製作した色識別ロボットの展示、④実験用6軸アームロボットによる書道のデモンスト

レーション、⑤受動歩行ロボットの製作教室などを実施しました。



自分モデルのゴム動力自動車の製作教室

機械システム工学科では、①学科のPR、②電気自動車(府中EVレース出場車両)の展示、③モノづくり体験教室の実施(ゴム動力自動車の製作、紙トンボの製作)を行いました。



学生、教員による体組成測定と説明の風景

生命栄養科学科では、①体組成(水分と身体部位別の筋肉、脂肪量など)と基礎代謝量の測定と健康チェック、②管理栄養士課程のPR、③学科が担当する市民フォーラムや公開授業の案内などを行いました。



福山大学の3つのブースを囲む人波

会場全体の趣旨は、「府中のもので、体験しよう」で、屋内の企業展示31ブース、大学・高校のブース、屋外の食品・衣料・雑貨販売37台の出展がありました。両日も大雨でしたが、来場者は延べ27,000人。大学展示への参加者も途切れることなく大好評なのは良かったのですが、担当教員と学生は大奮闘となりました。

生命栄養科学科 教授 山本 英二

平成23年度 食と健康のライフサイエンス(4回シリーズ)始まる

運営を担当する生命栄養科学科が、ライフサイエンスをベースに食品に強い管理栄養士の養成を目指して4年目になります。開設以来、今年も市民フォーラム“平成23年度 食と健康のライフサイエンス”を4回シリーズで行っています。福山市保健所や教育委員会、栄養士会、全国栄養士養成施設協会など関係機関と協力しながら食を通じて健康な生活を維持、向上させるための情報を継続的に地域の方々に発信することを目的としています。学生の社会参加にも役立っています。

第1回は、6月18日(土)、社会連携研究推進センター(宮地茂記念館)で開催され、栄養関係や食品企業の方を含む120名の参加のもと熱心な講演会となりました。

渡邊先生は、肥満のメカニズム、メタボリック症候群の定義、メタボによって引き起こされる高血圧、糖尿病、高脂血症、さらには脳卒中、心不全を述べた後、肥満予防の食事療法、行動療法を医療側の立場で切れ味鋭く講演されました。具体的な症例の質問に丁寧に答えられました。



保健所の山成幸恵先生は、公的機関のメタボ対策の試みとしての特定健診・特定保健指導が平成20年に始まり平成24年の一区切りを前に、現状の健診率が予定より大幅に低いことを説明されました。そこで、特定健診の必要性、医師、管理栄養士、保健師によって行われる特定保健指導の有効性を説明され、参加者への協力がありました。



第3回はすでに満席で、キャンセル待ち多数、第2回もほぼ満席と盛況です。

+++++ 平成23年度 +++++

第1回6月18日(土)

【生活習慣病の予防】

①「生活習慣病の現況と予防対策」

(渡邊 誠)

②「特定健診・特定保健指導」福山市保健

所成人健診課保健師

山成 幸恵

第2回7月30日(土)

【食品科学実験】

①「チャレンジ“ペクチンゼリー”」

(村上 泰子)

②「りんごの褐変とポリフェノール」

(里内 清)

第3回8月27日(土)

【地元食材を使った料理】

「郷土料理教室」福山市食生活改善推進連絡協議会会長 信森 雅子 他4名

第4回11月26日(土)

【人もペットもダイエット】

①「犬と猫の栄養管理～効果的なペットの減量～」日本ヒルズ・コルゲート(株)

獣医師/ペット栄養管理士 神尾 匡恵

②「食のちから～ダイエットのヒント～」

(石井 香代子)

③「4回シリーズの修了式」

生命栄養科学科 教授 山本 英二



第11回福山大学生命工学部公開授業始まる

今年で11年目を迎える福山大学生命工学部公開授業が、福山バイオビジネス交流会との共催で今年もスタートしました。この催しは、備後・井笠地域を中心に企業・一般・高校生の皆様に、バイオテクノロジーの最新技術や生命の不思議などをわかりやすく紹介しようという意図から始まりました。今年は、東日本大震災という未曾有の大災害が起り、あらためて命の大切さを感じていただこう、「生きるよろこび」というサブテーマで行うことにしました。6月～7月の2ヶ月にわたって、授業形式の講演を2題ずつ3回、実験形式の公開実験を1回行う予定で、第1回目の講義を盛況の内に終えることができました。

第1回は、6月4日(土)に備後地域地場産業振興センターで、海洋生物科学科南卓志教授による「増える魚と減る魚ー水産資源を予測するー」と同学科水上雅晴助教による「水族館の役割と仕事」と題した講演が行われました。南先生の講演は、現在増えつつある魚と減りつつある魚をどのような方法で予測したらよいのかを、具体的な例を挙げながらわかりやすく説明したもので、今後私たち日本

人の食生活に水産資源がどのような影響を及ぼすのか、考えさせられる内容でした。水上先生は、今までにグレートバリアリーフの水族館や日本のいくつかの水族館で働いた経験をもとに、水族館の知られざる魅力と今後の水族館の社会に果たす役割について、豊富な知識を披露していただきました。いままで見せ物としての水族館観を一変させるおもしろい内容で、講義を受けた皆さんも十分満足していただいたようです。参加人数も約50名と盛況でした。

第2回は、6月18日(土)に福山大学社会連携研究推進センターで、生命栄養科学科の渡辺誠教授による「生活習慣病の現況と予防対策」、福山市保健所成人検診課の山成幸恵氏による「特定検診・特定保健指導」の2講演が行われました。現代人の宿命でもある生活習慣病について、役立つ情報の講義だったと思います。

第3回は、7月2日(土)井笠地域地場産業振興センターで、生物工学科久富泰資教授による「酵母の種多様性のしくみとその利用」、同学科松崎浩明教授による「遺伝子のしくみ・暮らしとの関わり」

の2講演が行われました。微生物や遺伝子が我々人間の生きることに、如何に関わっているのかという、おもしろい内容の講義でした。

第4回は本学で公開実験を行います。本年度は一般・高校生向けに5テーマ、小学生を対象としたキッズメニューも5テーマ用意しています。

毎回高校生から一般の方まで幅広く参加していただき、また常連の参加者も多くいらっしゃいますので、今年も参加される皆様の期待を裏切らないような充実した内容で行いたいと思います。皆様のご参加をお待ちしております。

海洋生物科学科 教授 高村 克美



平成23年度 病院・保険薬局実務実習白衣授与式

平成23年5月7日(土)、病院と保険調剤薬局で臨床実務実習を行う薬学部5年生を激励することを目的として大学会館で白衣授与式を開催しました。

平成18年度から開始された6年制薬学教育課程では、5年生は病院と保険調剤薬局で合計5ヶ月間の臨床実務実習を行います。薬学部では、この臨床実務実習に赴く学生たちが、「一般人」から「医療人」となることを誓う象徴的な行事として昨年度に続き、今年度も「白衣授与式」を行いました。白衣授与式には、5年生の保護者と在校生(1年生から4年生および6年生)も列席しました。

白衣授与式では、薬学共用試験に合格したことを証明する「薬学共用試験基準点到達証明書」が伝達されました。これに続き、研究室の主宰教員から学生一人ひとりに薬学部のシンボルマークが刺繍された白衣が手渡されました。そして、松田文子学長、吉富博則薬学部長等

から激励の言葉が5年生に贈られました。この激励にこたえて、5年生の代表が、薬学部のシンボルマークに込められた想い、①医療、患者さんと真摯に向き合う、②医療人としての自覚と使命感をもつ、③温かく豊かな人間性をもつ、をしっかり胸に刻んで実習を行ってきますという誓いの言葉を述べて式は終了しました。

薬学部 教授 田村 豊



研究室主宰教員から5年生へ白衣の授与



白衣を授与された5年生



白衣を身にまとった5年生



学生代表の誓いの言葉

平成23年度教育懇談会について

教務課

本学では、毎年、教育懇談会を開催しています。この会には、本学の近況や就職状況・学生生活等についての説明を行う全体説明と、ご子女の学修(成績)状況の説明を行う個別懇談があります。また、就職・学生生活全般についての相談や質問にも応じています。福山大学会場につきましては、外部講師を招いて保証人の皆様を対象に就職講演会を実施する予定です。

今年度は右表のとおり開催しますので、保証人の皆様には、ご都合の良い日程・会場へご出席下さいようお願いいたします。

なお、出欠につきましては、7月下旬に保証人の皆様宛に別途郵送にてお送りします返信用ハガキでお知らせ下さい。

開催日程	開催地	対象学部	会場名
8月20日(土)	大阪	全学部	大阪ガーデンパレス
8月20日(土)	松山	全学部	松山東映ホテル
8月21日(日)	名古屋	全学部	名古屋ガーデンパレス
8月21日(日)	広島	全学部	広島ガーデンパレス
8月27日(土)	松江	全学部	松江東急イン
8月27日(土)	小郡	全学部	山口グランドホテル
8月28日(日)	姫路	全学部	姫路キャスルホテル
8月28日(日)	鳥取	全学部	白兎会館
8月28日(日)	高知	全学部	高知共済会館
9月3日(土)	岡山	全学部	まきび会館
9月3日(土)	鹿児島	全学部	ブルーウェーブイン鹿児島

開催日程	開催地	対象学部	会場名
9月4日(日)	高松	全学部	高松東急イン
9月4日(日)	福岡	全学部	福岡ガーデンパレス
開催日程	開催地	対象学部	会場名
9月10日(土)	福山	経済(1・3年次), 工, 薬(学生番号(偶数))	福山大学
9月11日(日)	福山	経済(2・4年次), 人間,生命工, 薬(学生番号(奇数))	福山大学

工学部機械システム工学科の表彰について——～自動車整備士試験全員合格!～

平成23年3月20日(日)に平成22年度第2回自動車整備技能登録試験(学科試験)が実施され、二級ガソリン自動車整備士試験(11名受験)並びに二級ジーゼル自動車整備士試験(10名受験)に本学の受験者全員が合格するという快挙を挙げました。この結果を受け、本学科の学生全員合格に向けての教育・指導が評価され、4月22日(金)に松田文子学長から表彰されました。

自動車整備士の国家資格には一級、二級、三級がありますが、自動車整備業界では二級



以上の有資格者が求められていて、二級整備士を取得するメリットは高いものとなっています。資格を取得するためには学科試験と実技試験に合格する必要がある、実技試験については、本学内の自動車実習工場(32号館)が自動車整備士養成施設になっていて、そこで規定の自動車整備技術講習を修了することで実技免除になります。そして学科試験である



登録試験に合格すると自動車整備士資格が取得できます。

本学科では技術講習とは別に、試験対策として試験日直前まで高いモチベーションを維持して頑張れるように試験直前講座を実施していますが、これが良い成果につながったものと思われます。

機械システム工学科 助手 山下 稔



人間文化学部コンサート げんきの樹～紡ぐ旋律, 根付く文化～ 人間文化学部

今回で7回目を迎えるこの行事は、今年度新しくなりました。昨年度後期の「日本語表現法2」の授業で1年次生の学生が企画したものを、2年次生に進級したその学生たちが運営・実施します。そのコンセプトは音楽による世代間交流、「人間文化学部は、『げんきの樹～紡ぐ旋律, 根付く文化～』をうちたて、若者と地域の人々をつなぐとともに、文化を根付かせ、深め合い、福山を明るく元気な町にします。この催しが多くの人のとの出逢いのきっかけとなることを願います。」というものです。高校生に出演募集し、人間文化学部生と高校生とがコラボレートして地域との交流を図るとともに、その輪を社会に広がっていきます。

最後に世代間交流という意味で、地域の方のお話を聞きますが、今回は、気仙沼市で被災者のお世話をされ、折ばらを折って被災者を慰めたという保健師さんからその活動についてお話を聞き、われわれのできることに考えていきたいと思います。

人間文化学科 教授 青木 美保

行事の概要

- ・日時 2011年7月16日(土) 14:00～16:00
- ・場所 福山大学社会連携研究推進センター(宮地茂記念館) 9階ホール



<第一部> コンサート

大学生 福山大学管弦楽団(室内楽)
高校生 箏曲【銀河学院高校箏曲部】
人間文化学科生によるミニレコードコンサート(蓄音機による)

<第二部> 研究発表及び講演

▶研究発表

- ①福山の伝統文化について
青木ゼミ4年次生
「葛原勾当とその和歌一音による交流」
- ②現代メディア文化について
メディア情報文化学科生
公共広告機構CMコンテスト受賞作品の発表
クイズ
- ③銀河学院高等学校 1年次生
「東北研修旅行を通して学んだこと」
- ④福山誠之館高等学校 3年次生
「いまの私たちにできること」

▶講演

被災地(気仙沼市)での活動一折ばらを届けて
福山市保健所 保健師

第4回「友だちにすすめたい本」コンクール

人間文化学部 人間文化学科

人間文化学科が平成20年より開催している「友だちにすすめたい本」コンクールも今年で4回目を迎えます。

近隣の高校を始めとして中部地方の高校からも応募があり、また年ごとに応募者数も増加し、着実にこの企画が根付いてきているようです。これも応援して頂いている高等学校の先生方のご協力があればこそで、この場を借りて感謝の意を表するとともに、さらなるご支援をよろしくお願い致します。

今年も高校生の皆さんからの、友だちがぜひその本を手にとって読みたいくなるような熱い感動を伝えてくれる力作を期待していますので、ふるってご応募ください。

人間文化学科 准教授 原 千史



「第3回友だちにすすめたい本」コンクール表彰式(平成22年12月)

本の対象：小説、エッセー、童話、詩など、ジャンルを問いません。

応募資格 高校生

応募方法 所定の用紙に500字以内

審査員 松田文子(本学学長、審査員長)、
血海達哉(ふくやま文学館館長)他、本学教員

表彰 個人賞 最優秀賞 1篇 賞状・副賞(図書カード1万円分)
優秀賞 4篇 賞状・副賞(図書カード5千円分)
佳作賞 20篇 賞状・副賞(図書カード2千円分)

学校別審査員賞 各校3篇 賞状

※30篇以上の応募があった学校が対象

発表 団体賞 学校賞2校 賞状・トロフィー

在籍校を通じて本人あてに通知し、
平成24年1月21日(予定)本学にて表彰式を行う。
入賞作品は冊子にして3月下旬に出版します。

応募期間 平成23年5月9日(月)から

9月10日(土)まで(消印有効)

応募先 〒729-0292 福山市学園町1番地三蔵

福山大学 人間文化学部 人間文化学科

「友だちにすすめたい本」コンクール係

詳しくはウェブサイトをご覧ください。

<http://www.fuhc.fukuyama-u.ac.jp/human/hc/>

お問い合わせは 人間文化学部事務局 ☎084-936-2111 (内線2222)

もしくは、ktanto@fuhc.fukuyama-u.ac.jpまで



第6回(2011年度)高校生CMコンテスト作品募集中 人間文化学部 メディア情報文化学科

メディア情報文化学科では、映像メディアに対する高校生の豊かな感性を開花させ、その才能を支援することを目的として「第6回高校生CMコンテスト」を開催します。

今年のテーマは「あなたの『まち』を、全国にアピールしよう!」。地域の魅力で人を惹きつけ、そのまちに行きたくくなるようなCMを考えてもらいます。

ビデオで撮影・編集した作品を応募する「映像作品の部」は、授業や部活などにおける表現活動の成果を示す好機になるかもしれません。絵コンテに企画をまとめる「企画コンテの部」や、地域の魅力を短いフレーズに凝縮する「広告コピーの部」は、映像制作の設備を持つ

ていない学校でも、気軽に参加できる部門です。昨年度は「映像作品の部」に89作品、「企画コンテの部」に38作品、「広告コピーの部」に20作品の応募をいただきました。

詳しくはウェブサイトをご覧ください。

<http://www.fukuyama-u.ac.jp/human/media/>

学科のブログでも、コンテストに関する情報を随時発信していきます。

審査には、藤森益弘氏(株式会社サン・アド、本学客員教授)をはじめ、プロのCMクリエイターをお招きします。そして三蔵祭の期間中には、受賞作品の上映・展示と表彰を予定していますので、どうぞご期待ください。



第5回(2010年度)高校生CMコンテストの審査会

お問い合わせは、人間文化学部事務局
☎084-936-2112(内線2223)もしくは、
cm2011@fuip.fukuyama-u.ac.jpまで。

メディア情報文化学科 講師 飯田 豊

高校生の味自慢・腕自慢を募集! 「第1回高校生アイデアどんぶり選手権」 生命栄養科学科

生命栄養科学科では、高校生を対象に「第1回高校生アイデアどんぶり選手権」を開催します。高校生の皆さんが、食と健康に関心を持ち、自分の住んでいる地域のさまざまな食品を使った料理作りを応援したいと考えたからです。栄養もさることながら、楽しく美味しく料理を作ってみる機会になればと願っています。

8月27日(土)に生命栄養科学科の調理実習室にて、実技審査を行う予定です。まずは書類審査(レシピ審査)を経て参加者が決まります。どんな料理が出品されるか楽しみです。多くのご参加をお待ちしています。なお、応募料理の課題は丼物ともう1品の計2品です。福山



調理例

大学HPにも要項を掲載しました。

<http://www.fukuyama-u.ac.jp>

生命栄養科学科 准教授 石井 香代子

主催 福山大学

協賛 福山大学 生命栄養科学科

協賛 福山大学 工学部

協賛 福山大学 経済学部

協賛 福山大学 法学部

協賛 福山大学 文学部

協賛 福山大学 教育学部

協賛 福山大学 農学部

協賛 福山大学 医学部

協賛 福山大学 工学部

協賛 福山大学 経済学部

協賛 福山大学 法学部

協賛 福山大学 文学部

協賛 福山大学 教育学部

協賛 福山大学 農学部

協賛 福山大学 医学部

第1回 高校生 アイデアどんぶり選手権

応募資格

福山県内に住んでいる高校2年生以上で、食と健康に関心を持ち、自分の住んでいる地域のさまざまな食品を使った料理作りを応援したいと考えている人。

募集内容

① 企画コンテ(絵コンテ) ② 映像作品(動画) ③ 広告コピー(文字) ④ 料理写真(写真)

募集期間

8月27日(土) 14:00~

募集場所

福山大学 生命栄養科学科 調理実習室

募集定員

10名(各部門別)

募集料

無料

お問い合わせ

生命栄養科学科 准教授 石井 香代子

☎084-936-2111(内線2223)

cm2011@fuip.fukuyama-u.ac.jp

福山大学

学友会短信

【サッカー部】

- 5月15日～ 22日 2011年度中国大学サッカー選手権兼総理大臣杯全日本大学サッカートーナメント大会中国地域予選大会出場

【陸上競技部】

- 5月13日～ 15日 第65回中国四国学生陸上競技対校選手権大会4名入賞
- 6月4日 第44回広島県学生陸上競技選手権大会出場
- 6月17日～ 18日 2011日本学生陸上競技個人選手権大会出場

【硬式野球部】

- 4月2日～ 5月16日 平成23年度中国六大学野球春季リーグ戦出場 第3位ベストナイン受賞 指名打者 木戸良介(経済4年)、三塁手 峠森友希(経済3年)
- 6月24日～ 26日 第25回中国地区大学野球新人戦優勝 最高殊勲賞 山本翔太郎(経済1年)

【剣道部】

- 5月15日 第58回中国四国学生剣道選手権大会出場
- 5月28日～ 29日 第56回西日本学生剣道大会出場

- 6月26日 第5回広島県学生剣道大会出場 男子団体第3位

【柔道部】

- 5月21日～ 22日 中国四国学生柔道優勝大会(男子57回、女子18回)出場

【ボート部】

- 4月24日 第66回広島レガッタ兼第55回中国高校ボート選手権広島県予選出場 第1位

【男子バレーボール部】

- 4月16日～ 17日 第73回中国大学バレーボールリーグ戦春季大会出場
- 5月20日～ 22日 第55回中国四国学生バレーボール選手権大会出場

【実戦空手道部】

- 4月24日 第33回全日本北海道院オープン選手権大会出場 段外重量級 第3位 山本祥央(海洋3年)

【弓道部】

- 4月23日～ 24日 第44回中国学生弓道競技大会出場
- 5月15日 第32回福山市近県弓道大会出場

【ダンス部】

- 5月8日 2011 JFE 西日本フェスタ in ふくやま 出場

【管弦楽団】

- 5月7日 薬学部白衣授与式のBGM演奏

【YRC部】

- 4月10日・5月29日 芦田川清掃活動
- 4月17日・28日 クリーンウォーキング in MATSUNAGA
- 5月14日～ 15日 福山ばら祭り参加
- 5月22日 クリーンウォーキング in FUKUYAMA

【モノづくり教育研究会】

- 6月5日 モノづくり教室

【執行部】

- 4月11日～ 15日 新入生サークル勧誘行事
- 5月15日 平成23年度春季学長杯争奪競技大会(ソフトボールの部、バドミントンの部)
- 6月2日 春季献血活動 (学務部 学生課)

学友会執行部 春季学長杯争奪競技大会を開催

今年も晴天に恵まれ、開学記念日である5月15日に“平成23年度春季学長杯争奪競技大会”を開催しました。今大会では、学友会硬式野球部、バドミントン部の協力によりソフトボール、バドミントンの2種目を開催し、約270名の学生・教職員が参加してキャンパス内がいつも以上に活気に満ち溢れていました。

ソフトボールでは、炎天下により日焼けで真っ赤になりながらも、円陣を組んだり、想いが届くよう大声で応援したりするなど、各チームが一丸となって優勝を目指し、全ての試合が白熱しました。バドミントンでは、ラリーが長時間続き、なかなか決着がつかない試合も見られ盛り上がりました。

今大会全体を通し、清々しい汗を流すことができ、また学部・学科・学年・サークルの枠を超えてコミュニケーションをとり、親睦を深めることができた大会となり、運営した学友会執行部としても、とても有意義なものとなりました。

海洋生物科学科 4年 福森 公大



福山大学善行表彰について

平成23年5月27日(金)学内での災害は、学生の冷静沈着な積極的な初期対応により終息しました。この善行は、他の学生の模範となることから、経済学部1年 島村 海太さん、人間文化学部メディア情報文化学科4年 村上 加奈さんが学長表彰されました。表彰式は平成23年6月3日(金)学長室にて行われ、松田学長から表彰状および記念品が贈呈されました。

(学務部 学生課)



学友会YRC部 活動紹介

YRC (Youth of Red Cross)部は、5年前から松永駅と福山駅周辺のごみ拾いや、地域イベントへのボランティア活動を行い、昨年度は学外活動が30回を超えました。本年度はロックバンド「矢印→」さんに付いて芦田川の清掃活動も開始し、まだまだ清掃すべき場所は沢山あると感じています。4月には福山青年会議所主催の福山サミットに受付等のボラ

ンティアとして参加し、また5月の福山ばら祭では「しゅりけんシュート!!パズルもあるよ」を出店し、多くの方々に楽しんでいただきました。イベントを通してさまざまな人と楽しい時間を過ごすことができるのもボランティアの楽しみの一つだと思います。

平成14年に同好会として発足し、平成22年に部に昇格を認められました。同年

1月には松永駅長から環境美化への貢献活動に対する感謝状をいただきました。これからも大好きな町のために清掃活動を続け、また地域のイベントにも積極的に参加し、地域の方々との繋がりを深めていきたいと思っています。

人間文化学科 3年 石井 奏

国際交流瓦版

◎備北丘陵公園・帝釈峡散策ツアーに日本人学生を含め、留学生44名が参加し、散策しながら、日本での季節感を体感。趙建紅講師・賈保華客員教授(協定校、中国・対外経済貿易大学)が引率。

(2010年11月23日)

◎福山市立東村小学校において、額日敦布和さん(国際経済1年 中国)が講師として、日本文化を比較しながら、中国・モンゴルの文化・伝統行事・生活の紹介を6年生の児童に講義。(12月10日)



◎日中友好広島県議会議員連盟講演会及び交流会へ張麗さん(国際経済4年 中国)ら3名の留学生が出席し、中国と日本との友好交流促進の一翼を担う。(12月13日)

◎福山市立東村小学校において、額日敦布和さん(国際経済1年 中国)と王婉薇さん(経済 中国・対外経済貿易大学からの交換留学生)が、中国料理実習として水餃子作りを指導。

(2011年1月21日)

◎「留学生の集い」で平成23年度本学留学生会会長に孫麗娜さん(国際経済3年 中国)、副会長に白亮さん(経済1年 中国)、任鶴程さん(機械システム工3年 中国)、郭剣さん(機械システム工2年 中国)を満場一致で信任。(1月27日)

◎平成23年度ロータリー米山記念奨学生として、欧黎斯さん(メディア情報文化3年 中国)の採用決定。(1月31日)

◎西部市民センターで開催された「まっながカープデー」の異文化交流イベントに、留学生会が手作り餃子やごま団子の飲食ブースを出店。(2月6日)

◎第19回外国人留学生による日本語スピーチコンテストにおいて、本学から陳宇星さん(人間文化3年 中国)ら3名が出場し、流暢にスピーチ。

(2月12日)

◎福山市立駅家小学校において、姚観さん(国際経済4年)ら6名の留学生が講師として、自国の紹介、遊びを通じて、日本との繋がりや日本の子供達への願い等について講義。(2月23日・25日・28日)

◎平成23年度(財)平和中島財団外国人留学生奨学生として、斯嘩さん(メディア情報文化3年 中国)の採用決定。(3月1日)

◎広島県日中親善協会主催の中国からの留学生の送別会及び激励会に、黄惠如さん(国際経済4年 中国)ら留学生9名と共に、富士彰夫副学長、足立浩一国際センター留学生部運営委員長が出席。(3月7日)

◎国際センターの副国際センター長として、中山昭夫教授が就任。

◎米国協定校・カリフォルニア大学リバーサイド校から、Laura A. Gibbons講師着任。英会話の講義を担当。

◎中国協定校・対外経済貿易大学から、李森客員教授着任。中国経済や中国語の講義を担当。

◎ブルガリア協定校・ソフィア大学と本学間での学術交流協定締結による、初の交換留学生、Panayotova P. Zlatozarovaさんを人間文化学部人間文化学科に1年間受入。

◎中国協定校・天津科技大学から、経済学部国際経済学科へ鄭嬢さんと劉雪娟さん、2名の交換留学生を前期期間受入。(4月1日)

◎平成23年度入学式において、新入生の留学生が25名入学、協定校から、17名の留学生が編入学。在籍留学生は8カ国、206名。(4月3日)

◎留学生会が四川大地震の復興支援のための義援金募金活動を実施。集まった義援金は、広島地域留学生会を通じて、日本赤十字会へ寄付。

(4月14日～4月15日)

◎平成23年度(財)八幡記念育英奨学生として、孫智偉さん(経済学研究科 特別研究生 中国)とMuthoni Eric Muneneさん(国際経済3年 ケニア)の2名の採用決定。(4月18日)

◎留学生会主催の新入生歓迎会を福山ニューキャッスルホテルで開催。新入留学生を囲んで、教職員や在学生が歓迎の祝宴。(4月23日)

◎東日本大震災の被災地支援のための演奏会において、額日敦布和さん(国際経済2年 中国)が馬頭琴で民謡を演奏。(4月24日)

◎薬学部において、日本薬学会中国四国支部主催、特別講演会「アジアの薬学教育」について、タイ、コンケン大学のAporanee Chaiyakum臨床薬学部門長講演、コンケン大学臨床研修アドバイザーの菅家甫子慶応大学客員教授解説。(5月6日)

◎国際センターにおいて、福重智也さん(国際経済2年)ら4名の日本人学生がチューター制度により留学生の日本語学習をサポート。

(5月9日～7月20日)



◎ブルガリアから来日したバラの女王、日本語弁論大会の優勝者と共に本学からPanayotova P. Zlatozarovaさん(人間文化 ソフィア大学からの交換留学生)が福山市立駅家中学校や障害者支援施設ローズ東村を訪問。(5月13日・29日)



◎広島地域留学生会主催平成23年度総会及び国際親善スポーツ大会が広島経済大学で開催され、本学から27名の留学生が参加し、バスケットボールとサッカーの両部門で第3位入賞。趙建紅講師引率。(5月28日)



◎平成23年度(財)熊平奨学文化財団奨学生として決定された、沈喬さん(経済学研究科1年 中国)ならびに張艶慧さん(国際経済4年 中国)が中山昭夫副国際センター長と共に懇親会へ出席。

(5月30日)

(学務部 国際交流課)

「助け合う心」

平成23年3月11日、東日本大地震が発生しました。津波で家を失ったり、家族をなくしたり人がたくさんいます。さらに、何度も大きな余震があって、非常に苦しい状態になっています。平成20年の四川大地震のときは、多くの日本人の皆さんの善意に感激しました。今回震災被災者への援助をしたいと考えたとき、留学生会で話し合った結果、すぐにできる事は募金だと思いました。

留学生会のメンバーは、4月21・22日、昼休みの時間を利用して、噴水前広場で募金活動を行いました。被災地の写真を貼ったプラカードを持ちながら、学生や先生方に大声で募金を呼びかけました。



多くの学生や教職員の皆さんから温かい募金をいただき、とても感動しました。国籍・金額の多少に関係なく、助け合う気持ちが何よりも大切だと思いました。

福山大学留学生会 会長 孫麗娜
(国際経済学科 3年生)



学内人事

【法人役員】

○辞任
理事長・総長 宮地 尚
(5月31日付)

○就任
理事長 清水 厚實
副理事長 大谷 巖
副理事長 仲谷 敦子
(以上6月1日付)
常務理事 鈴木 省三
(5月26日付)

【名誉教授称号授与】

前 工学部 教授 尾島 勝
前 工学部 教授 南 宏一
前 工学部 教授 古江 嘉弘
前 工学部 教授 鎌田 輝男
前 工学部 教授 上野谷 実
(以上4月1日付)

【役職関係】

○就任
副学長 岡崎 文憲
経済学部長 掛江 正造
人間文化学部長 位藤 邦生
工学部長 齋崎 展
生命工学部長 秦野 琢之
薬学部長 吉富 博則
経済学研究科長 泉 潤慈
工学研究科長 清水 光
生命工学系研究科長 里内 清
薬学研究科長 澁谷 博孝
経済学部長補佐 桑原 哲也
工学部長補佐 香川 直己
生命工学部長補佐 山本 覚
薬学部長補佐 富田 久夫
経済学科主任 平田 宏二
国際経済学科主任 尾田 温俊
心理学科主任 堤 俊彦
建築・建設学科主任 宮地 功
機械システム工学科主任 野西 利次
生命栄養科学科主任 洲上 倫子
海洋生物科学科主任 河原栄二郎
薬学科主任 森田 哲生
附属図書館長 田中 久男
附属図書館分館長 金尾 義治
情報処理教育センター長 筒本 和広
グリーンサイエンス研究センター長 藤田泰太郎
生命工学部附属海生物資源研究所長 南 卓志
教務委員長 鶴田 泰人
学生委員長 菊田 安至
学生副委員長 坂本 和文
学生副委員長 鶴崎 健一
大学入試センター試験実施委員長 井ノ内直良
大学入試センター試験実施副委員長 町支 臣成
自己評価委員長 栗延俊太郎
自己評価副委員長 磯貝 淳一
広報副委員長 田中 始男
(以上4月1日付)

○退任
生命工学部長 里内 清
工学研究科長 占部 逸正
生命工学系研究科長 藤田泰太郎
工学部長補佐 三谷 康夫
情報処理教育センター長 三谷 康夫
生命工学部長補佐 秦野 琢之

薬学部長補佐 澁谷 博孝
心理学科主任 青野 篤子
自己評価副委員長 青野 篤子
建築・建設学科主任 松本 静夫
機械システム工学科主任 坂口 勝次
海洋生物科学科主任 満谷 淳
薬学科主任 鶴田 泰人
生物薬学科主任 岡村 信幸
附属図書館分館長 吉富 博則
教務委員長 井ノ内直良
学生委員長 久富 泰資
学生副委員長 地主 弘幸
広報副委員長 原口 博行
大学入試センター試験実施委員長 富田 久夫
大学入試センター試験実施副委員長 井ノ内直良
(以上3月31日付)

【教員】

○定年退職
経済学部 教授 掛江 正造
経済学部 教授 片岡 俊郎
経済学部 教授 平田 宏二
経済学部 教授 井上 矩之
経済学部 教授 伊藤 祐一
人間文化学部 教授 丹藤 浩二
工学部 教授 安藤 詔生
工学部 教授 南 宏一
工学部 教授 古江 嘉弘
工学部 教授 鎌田 輝男
工学部 教授 中山 昭夫
工学部 教授 富田 武満
工学部 教授 上野谷 実
工学部 教授 千葉 利晃
工学部 准教授 小野 泰
生命工学部 教授 大川 秀郎
生命工学部 教授 洲上 倫子
生命工学部 教授 谷口 順彦
生命工学部 教授 伏見 浩
薬学部 教授 塩見 浩人
薬学部 教授 小野 行雄
薬学部 教授 五郎丸 毅
薬学部 教授 日比野 俐
(以上3月31日付)

○辞職
薬学部 准教授 田中 正孝
(2月28日付)
経済学部 教授 島 敏夫
人間文化学部 講師 中平 大輔
(保健管理センター心理カウンセラー)
工学部 教授 西尾 正富
生命工学部 助手 勝部 泰子
薬学部 講師 安楽 誠
(以上3月31日付)

○任期満了
人間文化学部 特任教授 篠田 昭夫
人間文化学部 特任教授 三浦 省五
工学部 特任教授 尾島 勝
生命工学部 特任教授 溝上 恭平
(以上3月31日付)

○昇任
経済学部 教授 尾田 温俊
経済学部 准教授 塚原一郎義治
人間文化学部 准教授 日下部典子
工学部 教授 宮地 功
工学部 准教授 水上 優
生命工学部 教授 太田 雅也

薬学部 教授 町支 臣成
薬学部 教授 佐藤 英治
薬学部 准教授 道原 明宏
(以上4月1日付)

○兼任
生命工学部 教授 松浦 史登
大学教育センター教授 丹藤 浩二
大学教育センター教授 西田 正
大学教育センター教授 富田 武満
大学教育センター准教授 鶴崎 健一
大学教育センター准教授 重迫 隆司
大学教育センター准教授 磯貝 淳一
情報処理教育センター教授 千葉 利晃
キャリア形成支援センター准教授 中村 博
(以上4月1日付)

○採用
経済学部 教授 坂本 和丈
経済学部 教授 馬 成三
経済学部 講師 岡谷 良二
経済学部 講師 日野恵美子
人間文化学部 教授 位藤 邦生
人間文化学部 講師 藤居 尚子
(保健管理センター心理カウンセラー)
工学部 講師 伍賀 正典
工学部 講師 宮崎 光二
生命工学部 教授 洲上 倫子
生命工学部教授 南 卓志
生命工学部助手 中崎 千尋
薬学部 助教 大西 正俊
薬学部 助教 上敷領 淳
大学教育センター講師

JaniceR.Brabec
大学教育センター講師
JeffreyJ.Nazzaro
大学教育センター講師
LauraA.Gibbons
(以上4月1日付)

○再採用
経済学部 教授 掛江 正造
経済学部 教授 平田 宏二
経済学部 教授 井上 矩之
経済学部 教授 伊藤 祐一
人間文化学部 教授 丹藤 浩二
工学部 教授 安藤 詔生
工学部 教授 中山 昭夫
工学部 教授 富田 武満
工学部 准教授 小野 泰
工学部 教授 千葉 利晃
生命工学部 教授 伏見 浩
薬学部 教授 塩見 浩人
薬学部 教授 小野 行雄
薬学部 教授 五郎丸 毅
薬学部 教授 日比野 俐
(以上4月1日付)

○客員教授
経済学部 吉原 龍介
経済学部 田中 秀征
経済学部 妹尾 正毅
経済学部 大久保 勲
人間文化学部 三浦 省五
人間文化学部 藤森 益弘
人間文化学部 宮地 克昌
工学部 横井 一仁
工学部 高橋 智隆
工学部 溝上 浩司
工学部 南 宏一

工学部 鎌田 輝男
工学部 古江 嘉弘
工学部 上野谷 実
生命工学部 谷口 順彦
生命工学部 宮崎 信之
薬学部 村上 信行
大学教育センター 橋本 裕之
構造・材料開発研究センター 井上 達雄
(以上4月1日付)

○客員教員(教授待遇)
経済学部 李 森
(4月1日付)
○北京教育研究センター顧問 佐藤 利行
(4月1日付)

【職員】

○定年退職
事務局次長(経理・施設担当) 羽原 哲也
学務部長 牧野 光良
工学部・生命工学部事務室事務長 岡田 進
(以上3月31日付)

○辞職
工学部・生命工学部事務室事務職員 杉原 弘美
(3月31日付)

○昇任
経理課経理係長 近藤 正之
(兼)学校法人福山大学総務部経理担当
用度課用度係長 林 孝彦
附属図書館事務係長 亀井 聖文
工学部・生命工学部事務室事務主任 明石麻由子
工学部・生命工学部事務室事務主任 岡田 祐侍
(以上4月1日付)

○配置換
学生課参事 五島 健至
(就職課)
教務課事務職員 宇野 友彦
(学生課)
(以上4月1日付)

○兼務
学務部長 岡崎 文憲
(4月1日付)

○免兼務
社会連携センター事務室長 後藤 哲男
(6月30日付)

○採用
学校法人福山大学参与 大谷 巖
(兼)福山大学参与
学校法人福山大学参与 石田 寛
(兼)福山大学参与
学校法人福山大学参与 邊見 芳夫
(兼)福山大学参与
就職課参事 千葉 秀俊
秘書主管(事務嘱託員) 森迫 哲子
(兼)学校法人福山大学秘書主管
総務部長(事務嘱託員) 栗栖 良光
(兼)教務課長
社会連携センター参事(事務嘱託員) 光波祥二郎
(以上4月1日付)

○再採用
大学事務局次長(経理・施設担当) 羽原 哲也
(兼)学校法人福山大学総務部財務担当
(兼)福山大学経理部長事務取扱
(兼)用度課長事務取扱
(兼)施設課長事務取扱
工学部・生命工学部事務室事務長 岡田 進
(以上4月1日付)

東北地方太平洋沖地震(東日本大震災)に関わる義援金について

平成23年3月11日(金)に発生した東北地方太平洋沖地震の被害について、福山大学では、被災地の皆さまの少しでもお役に立ちたいとの思いから、4月15日(金)まで福山大学キャンパス内に募金箱を設置するとともに、義援金用の銀行口座を開設し義援金の募集活動を行いました。

その結果、卒業生、在学生、教職員、更には市民の方々にも御協力いただき、募集期間中に合計701,000円のご協力を得ました。

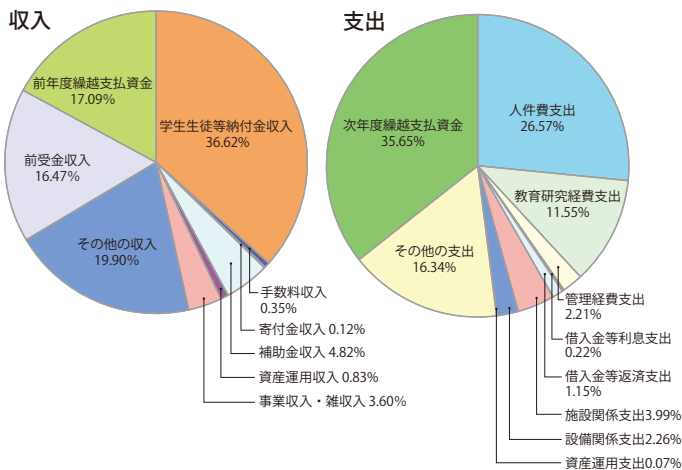
お預かりした義援金は、4月27日(水)に日本赤十字社広島県支部にお届けしました。

御協力いただきました皆さまに深く感謝申し上げます。

平成22年度 学校法人福山大学財務状況

資金収支計算書 (平成22年4月1日～平成23年3月31日) (単位 円)

収入の部		支出の部	
科目	金額	科目	金額
学生生徒等納付金収入	5,103,296,156	人件費支出	3,702,433,633
手数料収入	77,091,820	教育研究経費支出	1,609,082,909
寄付金収入	16,599,020	管理経費支出	308,438,405
補助金収入	670,994,044	借入金等利息支出	30,028,044
資産運用収入	115,753,721	借入金等返済支出	159,730,000
事業収入	55,418,900	施設関係支出	555,354,500
雑収入	446,225,309	設備関係支出	315,170,369
前受金収入	2,294,763,550	資産運用支出	9,073,661
その他の収入	2,773,349,157	その他の支出	2,277,573,647
資金収入調整勘定	△ 2,696,842,226	資金支出調整勘定	△ 73,278,211
前年度繰越支払資金	5,078,745,863	次年度繰越支払資金	5,041,788,357
収入の部合計	13,935,395,314	支出の部合計	13,935,395,314



資金収支計算書

資金収支計算書は、企業会計におけるキャッシュ・フロー計算書に近いもので、学校法人が教育研究その他の諸活動を行うことにより生ずるすべての資金収支の内容を示しています。学校法人の資金収支計算書では、前受金、未収入金、未払金、前払金を加えたもので、個々の収入金額、支出金額は必ずしも企業会計におけるキャッシュ・フローとなっていないませんが、別途「資金収入調整勘定」と「資金支出調整勘定」を設けて、これら前受金等を調整することになり、総額としてはキャッシュ・フローを示しています。

科目説明(科目は抜粋)

収入の部(主なもの)

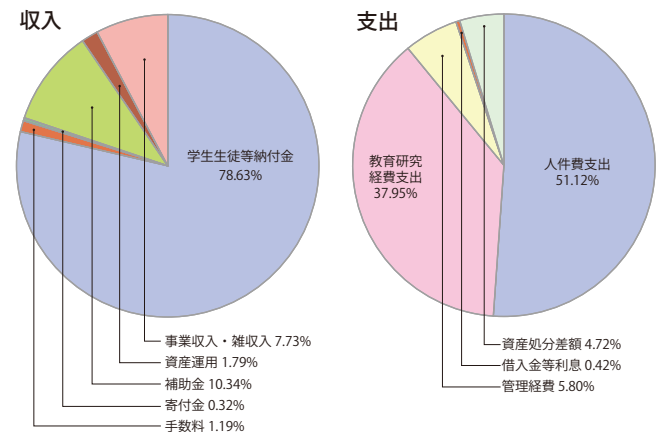
大 科 目	小 科 目	備 考
学生生徒等納付金収入	授業料収入	各種講座料等を含む
	実験実習料収入	教員資格その他の資格を取得するための実習料を含む
手数料収入	入学検定料収入	その会計年度に実施する入学試験のために徴収する収入
	試験料収入	再試験等のために徴収する収入
	証明手数料収入	在学証明等の証明のために徴収する収入
寄付金収入	特別寄付金収入	主に研究助成を用途とした寄付金
補助金収入	国庫補助金収入	日本私立学校振興・共済事業団からの補助金を含む
資金運用収入	受取利息・配当金収入	預金利息、債券の利金
事業収入	補助活動収入	学生寮の寮費収入
	受託事業収入	受託研究料
前受金収入	授業料前受金収入	翌年度の学生生徒等にかかる学生生徒等納付金収入
	補助活動前受金収入	翌年度の学生寮の寮費収入
その他の収入	前期末未収入金収入	前会計年度における未収入金の当該会計年度における収入

支出の部(主なもの)

大 科 目	小 科 目	備 考
人件費支出	教員人件費支出	教員(学長含む)に支給する本俸、期末手当及びその他の手当並びに所定福利費をいう。
	職員人件費支出	教員以外の職員に支給する本俸、期末手当及びその他の手当並びに所定福利費をいう。
教育研究経費支出	奨学費支出	奨学生の奨学金
施設関係支出	構築物支出	庭園等の土木設備又は工作物をいう。

消費収支計算書 (平成22年4月1日～平成23年3月31日) (単位 円)

収入の部		支出の部	
科目	金額	科目	金額
学生生徒等納付金	5,103,296,156	人件費	3,692,990,653
手数料	77,091,820	教育研究経費	2,741,452,581
寄付金	20,919,895	管理経費	419,236,426
補助金	670,994,044	借入金等利息	30,028,044
資産運用収入	115,920,855	資産処分差額	340,966,858
事業収入	55,418,900		
雑収入	446,234,507		
帰属収入合計	6,489,876,177		
消費収入の部合計	6,489,876,177	消費支出の部合計	7,224,674,562
		当年度消費収支差額	△ 734,798,385



消費収支計算書

消費収支計算書は、当該年度に帰属する収入から、基本金として支出した金額を控除した消費収入と人件費や教育研究経費などの消費支出を対比し、その均衡状況を示すとともに学校法人の経営状況を明らかにするものとされています。企業会計の損益計算書に近いものですが、損益計算書では計上対象とならない資本的支出が、消費収支計算書では基本金組入額として計上されている点が異なります。

科目説明(科目は抜粋)

収入の部(主なもの)

大 科 目	小 科 目	備 考
学生生徒等納付金	授業料	各種講座聴講料等を含む
	実験実習料	教員資格その他の資格を取得するための実習料を含む
手数料	入学検定料	その会計年度に実施する入学試験のために徴収する収入
	試験料	再試験等のために徴収する収入
	証明手数料	在学証明等の証明のために徴収する収入
寄付金	特別寄付金	主に研究助成を用途とした寄付金
補助金収入	国庫補助金	日本私立学校振興・共済事業団からの補助金を含む
資金運用収入	受取利息・配当金	預金利息、債券の利金
事業収入	補助活動収入	学生寮の寮費収入
	受託事業収入	受託研究料
雑収入		学校法人に帰属する上記の各収入以外の収入をいう

支出の部(主なもの)

大 科 目	小 科 目	備 考
人件費	教員人件費	教員(学長含む)に支給する本俸、期末手当及びその他の手当並びに所定福利費をいう。
	職員人件費	教員以外の職員に支給する本俸、期末手当及びその他の手当並びに所定福利費をいう。
教育研究経費	奨学費	奨学生の奨学金
	減価償却費	教育研究用減価償却資産に係る当該会計年度分の減価償却額をいう。
管理経費	減価償却費	教育研究用減価償却資産以外の減価償却資産に係る当該会計年度分の減価償却額をいう。
資産処分差額		資産の帳簿残高が当該資産の売却収入金額を超える場合のその超過額をいい、除却損または評価損を含む。

貸借対照表 (平成23年3月31日)		(単位 円)	
資産の部		負債の部, 基本金の部及び消費収支差額の部	
科目	金額	科目	金額
固定資産	62,285,953,274	負債の部	
有形固定資産	31,273,314,482	固定負債	2,728,635,843
うち土地	6,885,223,494	うち長期借入金	1,105,240,000
うち建物	15,641,875,303	うち退職引当金	1,567,120,505
うち構築物	1,181,289,926	うち長期未払金	56,275,338
うち教育研究機器備品	3,178,074,903	流動負債	2,643,767,484
うちその他の機器備品	18,828,119	うち短期借入金	159,550,000
うち図書	4,360,518,282	うち未払金	92,825,447
うち車両他	7,504,455	うち前受金	2,294,763,550
		うち預り金	96,628,487
その他の固定資産	31,012,638,792	負債の部合計	5,372,403,327
うち退職引当資産	1,519,016,830	基本金の部	
うち減価償却引当資産	14,817,708,385	第1号基本金	47,745,973,411
うち校舎建設等引当資産	8,320,910,466	第4号基本金	407,000,000
うち創設準備引当資産	6,318,065,265	基本金の部合計	48,152,973,411
うち保証金他	36,937,846		
		消費収支差額の部	
流動資産	5,666,848,819	翌年度繰越収入超過額	14,427,425,355
うち現預金	5,041,788,357		
うち未収入金他	625,060,462	負債の部, 基本金の部及び消費収支差額の部合計	67,952,802,093
資産の部合計	67,952,802,093		

貸借対照表

科目説明(科目は抜粋)

資産の部		
大科目	中項目	小科目
固定資産		
	有形固定資産	貸借対照表日後1年を超えて使用される資産をいう。耐用年数が1年未満になっているものであっても使用中のものを含む。
		建物 建物に附属する電気、給排水、暖房等の設備を含む。
		構築物 庭園等の土木設備又は工作物をいう。
		教育研究用機器備品 標本及び模型を含む。
その他の固定資産		
	電話加入権	加入電話等の設備負担金額をいう。
流動資産		
	未収入金	学生生徒等納付金、補助金などの貸借対照表日における未収入額をいう。
	有価証券	一時的に保有する有価証券をいう。

科目説明(科目は抜粋)

負債の部		
大科目	中項目	小科目
固定負債		
	長期借入金	その期限が貸借対照表日後1年を超えて到来するものをいう。
	退職給与引当金	退職給与規程等による計算に基づく退職給与引当額をいう。
流動負債		
	短期借入金	その期限が貸借対照表日後1年以内に到来するものをいう。
	預り金	教職員の源泉所得税、共済掛金等の預り金をいう。

財産目録 (平成23年3月31日)		(単位 円)	
I 資産		67,952,802,093	
1. 固定資産		62,285,953,274	
土地	大学敷地他 337,887㎡	6,885,223,494	
建物	大学校舎他 145,742㎡	15,641,875,303	
構築物	道路舗装外	1,181,289,926	
教育研究用機器備品	パソコン他	3,178,074,903	
その他の機器備品	学食厨房機器他	18,828,119	
図書		4,360,518,282	
車両		7,504,355	
船舶		100	
電話加入権		3,048,426	
施設利用権		700	
保証金		33,600,720	
敷金		288,000	
退職給与引当特定資産		1,519,016,830	
減価償却引当特定資産		14,817,708,385	
校舎建設等引当特定資産		8,320,910,466	
創設準備引当特定資産		6,318,065,265	
2. 流動資産		5,666,848,819	
現金・預金		5,041,788,357	
未収入金		453,689,476	
有価証券		131,167,332	
前払金		40,089,292	
仮払金		114,362	
II 負債		5,372,403,327	
1. 固定負債		2,728,635,843	
長期借入金	日本私立学校振興・共済事業団	1,105,240,000	
退職給与引当金		1,567,120,505	
長期未払金		56,275,338	
2. 流動負債		2,643,767,484	
短期借入金	日本私立学校振興・共済事業団	159,550,000	
未払金		92,825,447	
前受金		2,294,763,550	
預り金		96,628,487	
III 正味財産 (I - II)		62,580,398,766	



平成24年度 入学試験の概要

平成24年度入学試験の日程については次のとおりです。全入学試験において同窓生・在学生入学金減免制度を実施しています。同窓生・在学生入学金減免制度とは、福山大学の同窓生の子弟及び在学生の兄弟に対して、就学時の経済的支援のため、入学金を減免する制度です。同窓生の子弟及び在学生の兄弟とは、入学者の親、兄弟、姉妹のいずれかが福山大学の卒業生又は在学生(留学生は除く)です。その他、指定校入学試験を実施しています。

なお、入学試験の詳細については入試広報室までお問い合わせ下さい。

◆入試日程

入試種別	出願期間	試験日	合格発表日
A O 入学試験(第1期)	(エントリーシート提出期間) 平成23年8月1日(月) ～8月8日(月)	平成23年9月1日(木)	平成23年9月5日(月)
A O 入学試験(第2期)	(エントリーシート提出期間) 平成23年8月30日(火) ～9月6日(火)	平成23年10月1日(土)	平成23年10月4日(火)
推薦入学試験(A日程) (試験日自由選択制)	平成23年10月13日(木) ～11月1日(火)(消印有効)	平成23年11月6日(日) 平成23年11月7日(月)	平成23年11月10日(木)
推薦入学試験(B日程)	平成23年11月24日(木) ～12月7日(水)(消印有効)	平成23年12月10日(土)	平成23年12月14日(水)
前期入学試験(A日程) (試験日自由選択制)	平成24年1月5日(木) ～1月26日(木)(消印有効)	平成24年1月31日(火) 平成24年2月1日(水) 平成24年2月2日(木) 平成24年2月3日(金)	平成24年2月8日(水)
前期入学試験(B日程)	平成24年2月4日(土) ～2月16日(木)(消印有効)	平成24年2月21日(火)	平成24年2月24日(金)
後期入学試験	平成24年2月25日(土) ～3月8日(木)(消印有効)	平成24年3月13日(火)	平成24年3月16日(金)
センター試験利用入学試験 (前期日程)	平成24年1月5日(木) ～1月26日(木)(消印有効)	個別学力試験は課さない	平成24年2月8日(水)
センター試験利用入学試験 (後期日程)	平成24年2月25日(土) ～3月8日(木)(必着)	個別学力試験は課さない	平成24年3月16日(金)

※試験日自由選択制とは、上記試験日の中から、試験日を志願者が自由に選択できる制度です。

志願者は、同一学部・学科を複数回志願することや、異なる学科を1日ずつ志願することもできます。

◆試験地

- A O入試(第1期・第2期)【福山(福山大学)】
- 推薦入試(A日程)【11/6・11/7 福山(福山大学)・広島・福岡・岡山・那覇】
【11/6 鳥取・徳島・高知・神戸】 【11/7 松江・高松・松山・大阪・周南】
- 推薦入試(B日程)【福山(福山大学)・広島・山口・松江・高松・松山・福岡・岡山・大阪】
- 前期入試(A日程)【1/31～2/3 福山(福山大学)・広島・山口・福岡・岡山】
【1/31 鳥取・宮崎・京都】 【2/1 米子・大分】 【2/2 熊本・静岡】
【2/3 佐賀・神戸・名古屋】 【1/31・2/1 松山・高松・鹿児島・東京】
【2/2・2/3 今治・松江・高知・小倉】 【2/1・2/2 大阪】
- 前期入試(B日程)【福山(福山大学)・広島・岡山】
- 後期入試【福山(福山大学)・広島・福岡・岡山・大阪】

編集後記

福山大学の平成23年度が始まりました。学報129号では生き生きとした学生の姿を紹介することに主眼をおきました。新入生合宿オリエンテーションでは新しい学生生活のスタートの様子が、就職状況では最高学年の学生の活動がよくわかります。また、府中産業メッセ2011では在学生の地域連携活動の様子がよくわかります。生命栄養科学科の食と健康のライフサイエンスや薬学部白衣授与式なども紹介されており、福山大学のアクティブさがよく分かる紙面になりました。

発行 福山大学
編集 福山大学広報委員会
〒729-0292 広島県福山市学園町1番地三蔵
TEL (084) 936-2111 FAX (084) 936-2213

<http://www.fukuyama-u.ac.jp>